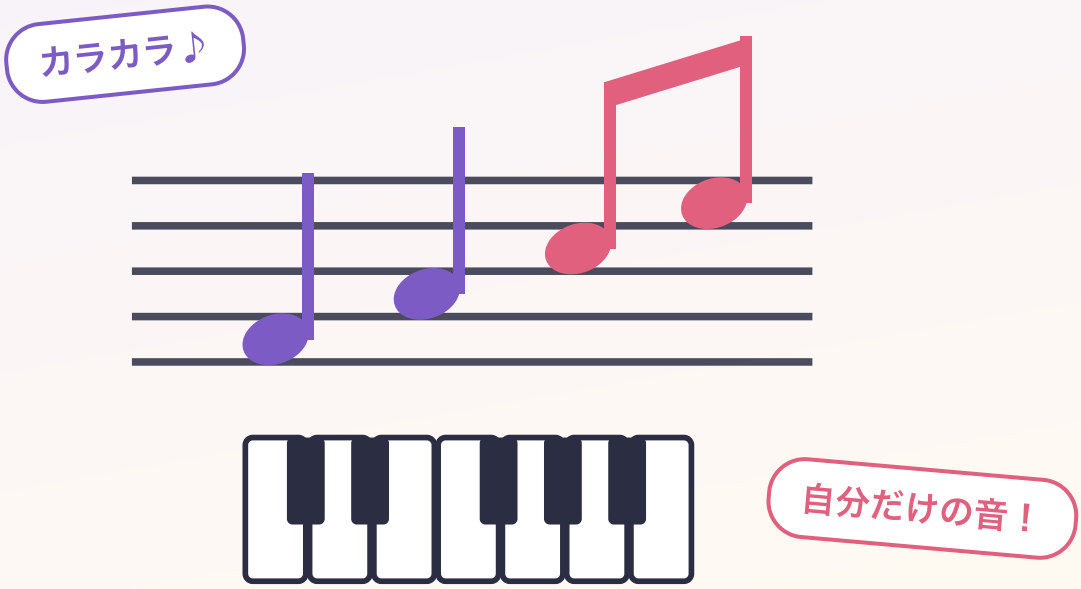
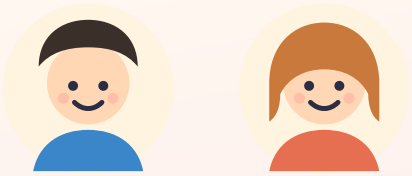
Season 4 | No.39



身近なもので楽器を作る

家にあるものが、楽器に変わる



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 声と体で感じる
音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2 本物の音を聴く
この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3 「やってみよう」は手と体で
答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken（ケン）
音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

音を探そう …… 3〜11
工夫してみよう …… 12〜19
練習しよう …… 20〜24
ふり返り …… 25〜30

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 1

音が出るものを探そう

家の中には、音の出るものがたくさんあります。

楽器は、お店で買うものだけではありません。**身近にあるものを工夫すれば、自分だけの楽器**を作ることができます。
コップ、空き箱、輪ゴム、ペットボトル。どれも、たたき方やならし方しだいで、りっぱな音の道具になります。



ポイント

- 同じ材料でも、たたく・ふる・こする・ふくで、まったくちがう音になります。
- 「これは音が出るかな？」と考えながら身のまわりを見ると、発見が増えます。

やってみよう

1. 家の中で、音が出そうなものを5つ探してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 2

コップの水で音階

水の量を変えると、たたいたときの音の高さが変わります。

作り方

同じコップを5個用意　水の量を少しずつ変える　スプーンで軽くたたく

水が多いコップほど低い音、少ないコップほど高い音が出ます。

ポイント

- スプーンでたたくと、コップ＋水がいっしょに振動して音になります。
- 水が多いとコップ全体が重くなり、振動がゆっくりになって低い音になります。

やってみよう

1. 水の量がちがうコップを5個用意して、音の高さの順にならべてみよう。
2. ならべたコップで、かんたんなメロディをたたいてみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 3

輪ゴムのギター

輪ゴムをはじくと、弦楽器のような音が出ます。

作り方

空き箱やティッシュ箱を使う　太さのちがう輪ゴムを何本かかける　指ではじく

輪ゴムの太さや張り具合で、音の高さが変わります。

ポイント

- 輪ゴムを強く張るほど、音は高くなります。
- 太い輪ゴムは低い音、細い輪ゴムは高い音になりやすい傾向があります。

やってみよう

1. 太さのちがう輪ゴムを箱にかけて、音の高さのちがいをくらべてみよう。

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 4

ペットボトルのマラカス

中に入れるもので、音の表情が変わります。

作り方

ペットボトルを用意　米・豆・ビーズなどを入れる　ふたをしっかりしめてふる

中身の大きさや量によって、音の粒立ちが変わります。

ポイント

- 米は細かい音、豆は大きめの音というように、中身で音色が変わります。
- 入れすぎると音が出にくくなるので、少なめから試すのがコツです。

やってみよう

1. 中身を変えて、音の感じがどうちがうか書いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 5

空き箱の太鼓

たたく場所と強さで、音が変わります。

作り方

空き箱を用意　手や割りばしでたたく　たたく場所を変えてみる

箱の大きさや形によって、響き方がちがいます。

ポイント

- 箱の中央と角では、たたいたときの音の高さや響き方が変わります。
- 厚紙の箱とプラスチックの箱でも、音色にちがいが出ます。

やってみよう

1. 空き箱を、中央・角・側面でたたきくらべてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 6

ストローの笛

ストローの先を工夫すると、音が出ます。

作り方

ストローの先をつぶす　先を三角に切る　つぶした部分をくわえて吹く

つぶした部分がリードのように振動して、音が出ます。

ポイント

- 先をつぶして振動しやすくすることで、リード楽器のような音が出ます。
- ストローの長さを短く切ると、音の高さが変わります。

やってみよう

1. 大人といっしょに、ストローの先をつぶして笛を作ってみよう。

ワンポイント　はさみを使うときは、必ず大人といっしょに、安全に気をつけて行いましょう。

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 7

紙コップの電話と音

糸を通して、音が伝わるしくみを知ろう。

作り方

紙コップ2つに穴をあける　糸を通して結ぶ　糸をピンと張って話す

糸がピンと張っているほど、声の振動がよく伝わります。

ポイント

- 声の振動が、コップ→糸→もう一方のコップへと伝わるしくみです。
- 糸がたるんでいると、振動がうまく伝わりません。

やってみよう

1. 紙コップの電話を作って、友だちや家族と話してみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 8

ビンをふいて音を出す

水の量を変えると、ふいたときの音の高さが変わります。

作り方

空きビンを用意　水の量を少しずつ変える　口をふいて音を出す

水が多いビンほど高い音、少ないビンほど低い音が出ます。

ポイント

- ふいて鳴らす音は、ビンの中の空気の柱が振動して出ます。
- 水が多いと空気の柱が短くなり、高い音になります。

やってみよう

1. 水の量がちがうビンを2〜3本用意して、ふいたときの音をくらべてみよう。

ワンポイント たたく音（コップの水あそび）とふく音（ビンをふく）とでは、水の量と音の高さの関係が反対になります。ちがいに注目してみましょう。

書いて覚えよう

Lesson
9-10

竹やホースの楽器・木の実や石の楽器

自然の材料からも、音が生まれます。

竹の水鉄砲風の笛

竹筒の長さで音の高さが変わる

ホースをふり回す笛

空気の通り道の速さで音が変わる

木の実のマラカス

実を乾かしてからふる

石の打楽器

石どうしを打ち合わせる

貝がらの楽器

貝がらをこすり合わせる

木の枝の拍子木

2本を打ち合わせる

ポイント

- 自然の材料は、形も音もひとつひとつちがう、おもしろさがあります。
- 拾ったものを使うときは、きれいに洗ってから使いましょう。

やってみよう

1. 外で拾える、楽器になりそうなものを考えてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 11

音の高さを変える工夫

材料の長さ・太さ・量を変えると、音が変わります。

変える部分	音の変化の一例
水の量（たたく）	多いほど低い音
水の量（ふく）	多いほど高い音
輪ゴムの張り具合	強いほど高い音
管の長さ	長いほど低い音

ポイント

- 1つの材料でも、量や長さを変えるだけで、いろいろな音の高さが作れます。
- 表にまとめると、変化のきまりが見えやすくなります。

やってみよう

1. 自分が作った楽器で、音の高さを1つ変える工夫を試してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 12

音を大きくする工夫

空どうを利用すると、音が大きく響きます。

ポイント

- 空き箱や空きかんのような空どうに乗せると、音が大きく響きやすくなります。
- 楽器の下に箱を置くだけでも、響き方が変わることがあります。

やってみよう

1. 輪ゴムのギターを、箱の上に乗せたときと乗せないときで、音の大きさをくらべてみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 13

安全に作るために

楽しく作るために、安全のルールを守ろう。

安全のポイント

はさみ・カッターは大人と　小さな部品は口に入れない　割れ物は気をつけてあつかう

特に小さい部品や割れやすい材料は、大人といっしょに作業しましょう。

ポイント

- 道具を使うときは、必ず大人といっしょに、正しい使い方で行いましょう。
- 作ったあとの材料は、きちんと片づけることも大切です。

やってみよう

1. 今日使う道具の中で、大人と一緒に使うものはどれか確認しよう。

_____

書いて覚えよう

Lesson 14

楽器にかざりをつける

自分らしい見た目にすると、愛着がわきます。

かざりのアイデア

色をぬる　シールをはる　リボンをつける

音が変わらない範囲で、見た目を工夫してみましょう。

ポイント

- かざりつけをすると、自分だけの1つの楽器という感じが強まります。
- 接着剤や絵の具を使うときも、大人といっしょに行いましょう。

やってみよう

1. 自分の楽器に、好きなかざりをつけてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 15

手作り楽器の演奏

作った楽器で、短いリズムを演奏しよう。

手作り楽器でのリズムの例



作った楽器で、このリズムをたたいたり、ふったりしてみましょう。

ポイント

- 同じリズムでも、楽器がちがうと、まったくちがう印象になります。
- リズムをくり返し練習すると、少しずつそろってきます。

やってみよう

1. 上のリズムを、自分が作った楽器で3回くり返してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 16

手作り楽器で合奏

みんなの楽器を重ねると、合奏になります。



Ken
ぼくのペットボトルと、Emmaの空き箱、音の高さがちがうね。

Emma
低い音と高い音が重なると、なんだかにぎやかで楽しいね！



ポイント

- ちがう種類の手作り楽器を重ねると、厚みのある音楽になります。
- 1人はリズム、1人はメロディのように、役割を分けても楽しめます。

やってみよう

1. 友だちや家族と、ちがう手作り楽器で同時に鳴らしてみよう。

書いて覚えよう

Lesson
17-18

世界の手作り楽器・作った楽器を紹介しよう

世界の知恵と、自分の作品を見てみよう。

カリンバ（アフリカ）
金属の板を親指ではじく

竹筒太鼓（東南アジア）
竹をくりぬいてたたく

ウォーターゴング
水を張ったたらいでゴングを鳴らす

ポイント

- 世界には、身近な材料から生まれた楽器がたくさんあります。
- 工夫のしかたを知ると、自分の楽器作りのヒントにもなります。

やってみよう

1. 自分が作った楽器を、名前をつけて紹介してみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 19

リサイクルと音楽

使い終わったものが、音楽の材料に生まれ変わります。

ポイント

- 空き箱やペットボトルなど、捨てるはずだったものが楽器に変わります。
- 材料を大切に使うことは、環境にもやさしい取り組みです。

やってみよう

1. 家にあるリサイクルできそうな材料を、3つ書いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 20

聴いてくらべよう

2つの手作り楽器の音をくらべると、ちがいがわかります。

くらべるところ	楽器A	楽器B
音の高さ	高め・ふつう・低め	高め・ふつう・低め
音の大きさ	大きい・ふつう・小さい	大きい・ふつう・小さい
材料	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿＿

ポイント

- 同じ材料でも、作り方によって音のちがいが生まれます。
- 聴きくらべると、工夫のヒントが見つかります。

やってみよう

1. 自分の手作り楽器と、友だちの手作り楽器を聴きくらべて表を完成させよう。

書いて覚えよう

Lesson
21-22

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

ひとりでも、みんなでも作って鳴らしてみよう。

A （手作り楽器でリズムを鳴らす）

B （まねして鳴らす）＿＿＿＿＿＿

A （別のリズムを鳴らす）＿＿＿＿＿＿

B （まねして鳴らす）＿＿＿＿＿＿

ポイント

- A が鳴らしたリズムを、B が耳でまねする「まねっこ練習」です。
- 交代しながら練習すると、聴く力もいっしょに育ちます。

ワンポイント うまく合わなくても大丈夫。相手のリズムをよく聴くことが上達の近道です。

書いて覚えよう

Lesson
23-24

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきには、共通した原因があります。

つまずき

よくあること

思った音が出ない
材料や量が合っていない

音がすぐ小さくなる
材料がゆるんでいる

コツ

こうしてみよう

水や中身の量を少しずつ変えて試す
1つずつ調整する

輪ゴムやふたをしっかり固定する
ゆるみをなくす

ポイント

- うまくいかないときは、材料の量や固定のしかたを見直しましょう。
- 1つずつ試して調整すると、理想の音に近づきます。

やってみよう

1. 自分の楽器でうまくいかなかったことを1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 上のコツから1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 25

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

作り方の言葉

- ☐ **空どう**
  音を響かせる空間
- ☐ **リード**
  振動して音を出す薄い板

工夫の言葉

- ☐ **音の高さ**
  高い音・低い音
- ☐ **音色**
  音の感じ・特ちょう

材料の言葉

- ☐ **リサイクル**
  使い終わったものを生かすこと
- ☐ **天然の材料**
  竹・木の実・石など

世界の楽器

- ☐ **カリンバ**
  アフリカの、親指ではじく楽器
- ☐ **竹筒太鼓**
  東南アジアの竹の太鼓

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、工夫を人に説明しやすくなります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 26

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

空どう	●	● ア. 親指ではじくアフリカの楽器
リサイクル	●	● イ. 音を響かせる空間
リード	●	● ウ. 音の感じ・特ちょう
カリンバ	●	● エ. 振動して音を出す薄い板
音色	●	● オ. 使い終わったものを生かすこと

2. コップをたたいたときとビンをふいたとき、水が多いとそれぞれどんな音になるか書こう

1. _____

3. 弦楽器のような音を出すのに使った材料を書こう

1. _____

書いて覚えよう

Lesson 27

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	身近な材料で楽器を1つ作れた	手作り楽器
☐	水の量と音の高さの関係が言える	たたく・ふくのちがい
☐	安全に気をつけて作業できた	道具の使い方
☐	作った楽器でリズムを鳴らせた	演奏する力
☐	友だちと合奏できた	音を重ねる楽しさ

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。
- 少しずつできることが増えれば十分です。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 28

家でできる練習

毎日少しずつ、手作り楽器にふれよう。

朝
コップの水で音の高さを確認する

昼
空き箱をたたいてリズム遊び

帰宅後
輪ゴムの張り具合を調整する

夕方
作った楽器でリズムを練習する

夜
音楽ノートに気づいたことを書く

週末
家族に手作り楽器を披露する

ポイント

- 1回5分でも、毎日ふれることで工夫のアイデアが増えていきます。
- 水を使うときは、こぼさないように気をつけましょう。

書いて覚えよう

Lesson
29-30

発表してみよう・感想を書こう

作った楽器を、人に紹介してみよう。

楽器の名前	
材料	
工夫したところ	
聴いてほしい人	

Emma の例

楽器の名前 ペコペコマラカス／材料 ペットボトルと豆／工夫したところ 豆の量を変えて音を調整した／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① この楽器を作って、〜な感じがしました。② とくに、〜のところをがんばりました。③ 次は、〜に挑戦したいです。

書いて覚えよう

Lesson
31-32

もっと知りたい人へ・次のステップ

手作り楽器の世界は、まだまだ広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で
手作り楽器の本をさがす

動画で
世界の手作り楽器を見る

科学で
音が出るしくみをくわしく知る

次のステップ

合奏してみよう
作った楽器で合わせる楽しさ

リズムパターン
いろいろなリズムの型を知る

打楽器
本物の打楽器と聴きくらべる

ポイント

- この教材の次は「合奏してみよう」。作った楽器を生かして、音を合わせる楽しさに進みます。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. どんな材料で楽器を作りましたか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. いちばん工夫したことは？＿＿＿＿＿＿＿＿
3. 次に作ってみたい楽器は？＿＿＿＿＿＿＿＿

手作り楽器ミッションカード

MISSION 1
新しい手作り楽器を1つ作る

MISSION 2
作った楽器を家族に紹介する

MISSION 3
友だちと合奏してみる

MISSION 4
リサイクル材料を3つ集める

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

Lesson 34

身近なもので楽器を作るチャレンジ

教室の外でも、楽器作りはすぐに楽しめます。

探そう
家の中で音が出るものを見つける

作ろう
手作り楽器を1つ完成させる

聴かせよう
作った楽器を家族に聴いてもらう

こたえ

L26 空どう→イ リサイクル→オ リード→エ カリンバ→ア 音色→ウ　2. 低い音（たたくとき）／高い音（ふくとき）／3. 輪ゴム

L33 （例）身近なものでも、量や形を工夫すれば、自分だけの音を出す楽器になる。

書いて覚えよう

身近なもので楽器を作る（Season 4 ｜ No.39）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。